

令和5年2月24日

松阪市議会
議長 山本芳敬 様

公明党 奥出かよ子

研修報告書

【アメニティーフォーラム 26 (3日間コース) 障害がハンディにならない社会づくりを目指して】

日 時：令和5年2月10日～2月12日
場 所：滋賀県びわ湖大津プリンスホテル
会 派 名：公明党
参加議員：奥出かよ子

1. プログラム



2. 内容 アメニティーフォーラムは、これまで障害がハンディにならない社会づくりを目指して開催されてきました。様々なハンディのある方が、豊かな地域生活を送るために、必要なサービスの創出と提供していく仕組みづくりを提案されてきました。特に障害のある方の地域移行を支える制度やこれからの社会保障のあり方について議論をしました。

その中で DPI 日本会議事務局長 佐藤聡氏は、

① 地方のバリアフリー

●地方の鉄道のバリアフリー整備 鉄道駅バリアフリー料金制度の活用

●無人駅の問題

●乗務員による携帯スロープ介助

② 建物

●移動はできるようになった！

●次は建物！

(店舗、飲食店、ホテル、住宅)

お店はほとんど入れない。アメリカに行かれた際、ほとんどの店に入れた。

人間とはこんなに自由だったのか！→10年後、20年後は全く違う街に

DPI ビジョン

障害者の権利の実現を目指す運動を通して、全ての人が希望と尊厳をもって、

ともに育ち、学び、働き、暮らせるインクルーシブ「包括的」な社会を創る 等

ありました。

そして、もう1点がんに対する様々な議論等もありました。

◎がんに罹患した人のうち、20-69才のいわゆる就労世代が占める割合は

45.6%。(全罹患者数約80万人、うち20-69歳36.5万人) (2008年)

◎仕事をしながら、がん治療のために通院している人は、32.5万人(女性18.1

万人、男性14.4万人) (2010年)

いずれも、厚生労働省資料『がん患者の就労や就労支援に関する現状』

がん患者に寄り添いつづけた精神科医・丸田俊彦の言葉

● I am a cancer でなく、I have a cancer

患者さんにとって、心身ともにたいへんなことですが、がんに「侵されている」のではなく、がんを「持っている」という考え方があります。がんを慢性疾患のひとつと捉え、症状をコントロールしながら、今までと同じように暮らせたらと思います。

● がんのワナにかからない

生活し働くなかで、気持ちが沈んでしまうことや、さまざまなことに否定的になってしまうことがあります。その時は、がんのワナにかかっていないか、自分に問いかけてみましょう。

1. がんにかかったのは、自分が悪かったからだと思っていませんか

「がんにかかったのは、あなたのせいではありません」

2. 人生のあらゆることを、がんに関連づけて考えていませんか

「がんは人生のすべてではありません」

3. 調子の悪い状態がこれからもずっと続くと思っていませんか

「この状態がずっと続くわけではありません」等ありました。

がん患者に寄り添いつづけた精神科医・丸田俊彦の言葉 丸田俊彦（腫瘍精神科医 米国メイヨ・クリニック医科大学精神科名誉教授

1		2月10日(金)	
12:30	第26回アムニティフォーラムは「活動」から始まります！	6	
	【特別】詩を奏でる ～俳優のこぼれリズムを刻む身体が呼吸する詩の世界～		
13:30	【特別】詩を奏でる	7	
	【特別】詩を奏でる ～俳優のこぼれリズムを刻む身体が呼吸する詩の世界～		
14:30	【特別】詩を奏でる	8	
	【特別】詩を奏でる ～俳優のこぼれリズムを刻む身体が呼吸する詩の世界～		
15:45	福島智さんのお母さんをモチーフにした映画「桜色の風が吹く」が完成しました。	9	
16:30	映画「桜色の風が吹く」(バリアフリー版)の上映を行います。		
17:00	休息		
20:00	若らはヨシモトぐらい面白い！芝居「妖怪バリアーをやっつける！」		
20:30	国土交通省政務官・古川康(衆議院議員)さんをお迎えして！～公共交通の課題、楽しいアイデアで解決策が見つけれたらと～	3	
	【特別】若らぐらい面白い！		
21:30	共に育つ時間と場所が、豊かな社会を創ると思うのです。～ようかり保育園の取り組みから、私たちが学ぶこと～	4	
22:30	※この時間用にご参加いただける方、アムニティならではの思いがありますか、大塚インクループの感想が公開されます。		
2		2月11日(土)	
9:30	ジュネーブの熱気をお伝えします！ 国連障害者権利条約・対日審査の総括所見の報告	5	
	【特別】若らぐらい面白い！		
9:30	強行犯障害者のある人を支える仕組みに、未来はあるのか？～設備でも、働き方も起えられない何かがあり、支援者だけの関係には疲れない～	6	
	【特別】若らぐらい面白い！		
10:30	日本博を契機に向上する障害者の文化芸術へのアクセシビリティ～誰もが文化芸術とともに暮らせることの大切さ～	7	
	【特別】若らぐらい面白い！		
12:30	休息		
13:30	改正障害者総合支援法について ～今回の改正で、地域生活はどのように進むのか～	8	
	【特別】若らぐらい面白い！		
14:30	田島良毅がいた時代、その規格外の優しさに触れた人たち～作本の引き寄せ、もう少し言葉にしてほしい～	9	
	【特別】若らぐらい面白い！		
15:30	夢のような世界への期待？それとも置いていかれる不安？～誰一人取り残されない、人にやさしいデジタル社会の実現に向けて～	10	
	【特別】若らぐらい面白い！		
16:30	作る法律、見直す法律！～障害者基本法の見直し・高次脳機能障害者支援法の制定・2025万博に障害者の芸術を～	11	
	【特別】若らぐらい面白い！		
18:30	休息		
19:30	バリアフリー演劇「Touch～孤独から愛へ」東京演劇集団		
	昨年公演以来、たくさんの「もう一度、観たい」という声が、アムニティフォーラム事務局に寄せられました。		
21:30	【特別】若らぐらい面白い！		
22:30	アフタートーク 以前にこの差を感じ、衝撃を受けました！	12	
	【特別】若らぐらい面白い！		
23:30	同級生の様々な人生の選択があった。今、どんなことを考えているのか、公開で語り合います。題して、「僕らはいつも、旅の途中！」		
	【特別】若らぐらい面白い！		
3		2月12日(日)	
8:45	がんの治療を受けながら生きがいをもって生きることの難しさ～前向きな心を取り戻すために、それぞれにできること～	13	
	【特別】若らぐらい面白い！		
10:30	朗読！ 新しい貧困と孤独の中で、私たちが探しているもの～お互いに伴奏をしながら生き延びる人生を～	14	
	【特別】若らぐらい面白い！		
11:30	これからの社会保障の話を聞こう！～楽観でもなく悲観でもない、そこに迫る2040のデータから考える～	15	
	【特別】若らぐらい面白い！		
12:30	昨年引き続き、若書で締めましょう！～き塚もあってシンポジウムもあって、そんなことを一緒に学べるアムニティのプログラムは楽しかった～		
	【特別】若らぐらい面白い！		
14:30	森賢一様記念音楽祭が同じ大津プリンスホテルで行われます。是非、お楽しみ下さい！	16	
	【特別】若らぐらい面白い！		





車椅子の方も共に参加

3, 所感

アメニティフォーラム26に参加させて頂き、一番に思ったことは、

車いすでの参加者の方が多いことに、大変感動致しました。

この催しは障害がハンディにならない社会づくりを目指して、行われてきました。

本市に於いても、すべての方が様々な催しに参加しやすい、

参加して頂けるような環境づくりをまず進めていきたいと強く思いました。

そして、又 がん治療をしながら生活し、仕事もしていく事の大変さもすごく感じました。

がん治療をされている方、又ご家族に対しての配慮 職場環境等の理解を広めていきます。